テーマ 『 マフラーライン

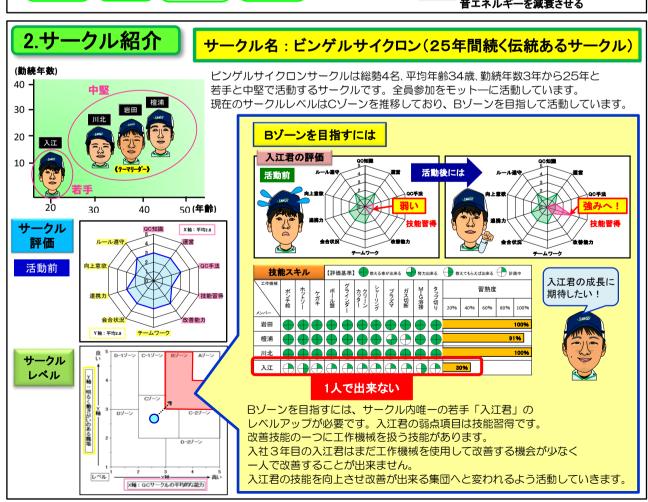
抜けカス回収時間低減活動 』 ~14年間飛散が当たり前だった世界からの脱却~

㈱三五 福田工場 第2製造部 第4製造課

イワタ ヒロヤ

サークル名: ビンゲルサイクロンサークル 発表者: 岩田 紘也





3.テーマ選定理由

サークル会合時に最近の困り事を聞いてみたところいつも大人しい若手の入江君より「昼一やってる15点検(設備点検)ですが、15分で終わらないんですよね」と発言があり

私の一存で調べてみることにしました。



15点検の計画時間の内訳 15分 抜けカス廃却(2分) 清掃 スパッタ廉却(2分) 6分 スパッタ清掃(2分) 9分 エアー漏れ(2分) 断線・油漏れ(2分) 点検 緩み・摩耗(2分) 9分 汚れ・油切れ(3分) 点検メニュー4項目9分、清掃メニュー3項目6分 トータル15分で終わるよう設定しています。

まず現状時間を調べてみると、毎日オーバーしている事とばらつきがある事が分かりました。

15点検の"項目別"計画時間と現状時間

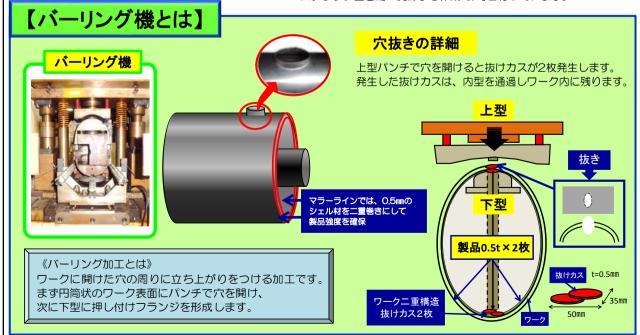


点検4項目・清掃3項目の計画時間に対して現状を 調査したところ、最も抜けカス廃却が計画時間を オーバーしている事が分かりました。

15点検の内容と工程



抜けカス廃却は、バーリング機で発生する抜けカスを スクラップ置き場へ廃却する作業で、毎日行っています。



5.現状調査

バーリングエ程の流れ

抜けカスが回収受けに入るメカニズム

上型下降 起動

カス抜け

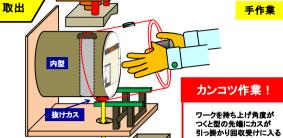
上型上昇

カス残り 確認 取出

手作業

自動運転

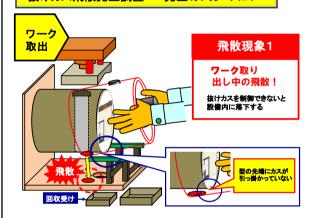
手作業



ワークをセットし起動を入れると、上型が下降し 抜けカスが2枚抜け、ワーク内下に落下します。 その後、加工されたワークを取り出す際、ワークを 下型部になぞるように引き抜くと型の先端に カスが引っ掛かり回収受けに入ります。 このワーク取り出し作業は、カンコツ作業になります。

抜けカス飛散発生調査 ~発生のメカニズム~

回収受け→



1つ目はワーク取出し中です。 ワークを持ち上げた時、型の先端に抜けカスが 引っかからず設備内に飛散していました。

重要作業 カス残り 確認 飛散現象2 カス残り **■曜中**の飛散! 抜けカスを制御できないと 抜けカスがワークの中に 残り確認中に飛散 回収受け

2つ目はカス残り確認中です。 ワークを傾け回収受けを狙って抜けカスを入れようとし うまく入らず飛散してしまう事でした。 ワークの中に抜けカスが残ると品質的に問題なため この作業は必ず行わなければなりません。

抜けカス飛散発生調査 ~飛散箇所と飛散量~

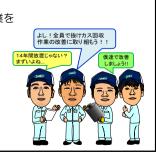


15点検時に工程を確認したところ 型の隙間に入ったものやワーク取り出し中に設備内に 残ったもの、床に落下したものが散乱しており なんと96枚中64枚飛散している事がわかりました。

抜けカス廃却作業調査



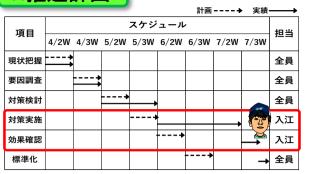
実際に飛散した抜けカスの回収作業を やってもらったところ 簡単に回収できる状態に無く 狭いところに抜けカスが 入り込んでおり、回収時間に4.1分 本来の廃却往復時間2分を足すと トータル6.1分かかっていました。



6.目標設定 15点検時間 抜けカス廃却 (分) 19.1分 回収作業 2.0 4月8日 4月9日 4月11日 4月12日 7月末までに 計画時間内へ 現状 いつまでに どうする 何を 7月末までに 抜けカス飛散を無くし 15分/日で終わらせる

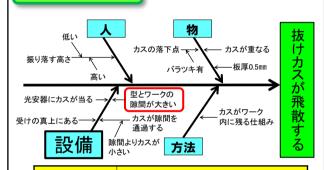
7月末までに抜けカス飛散をなくし15点検時間19.1分を 15分で終わらせるという目標を立て活動スタートです。

7.推進計画



推進計画は、このようにスケジュールを立て推進しサークルのレベルアップのカギである入江君の技能向上を目指すことから、対策実施を中心に入江君の担当にしました。

8.要因調查



主要因 型とワークの隙間が大きい

特性要因図を用い4Mで解析を行い、要因の絞り込みを したところ、設備の面で型とワークの隙間が大きいという 主要因を洗い出すことができました。

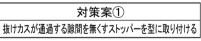
9.主要因の検証



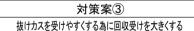
内型にワークをセットし、下側の隙間を確認したところ 10mmの隙間が確認でき、ワークに抜けカスを乗せた状態で 隙間を確認すると7mmになり、抜けカスが通過してしまう為 影響が大きい事が分かりました。

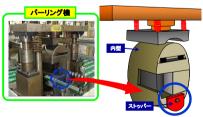
10.対策検討

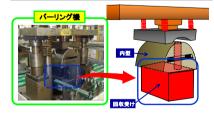
「隙間を抜けカスが通過してしまう」を問題点とし、メンバーで対策案を検討したところ、3つの対策案を出すことができました。



対策案② 内型下半分を無くし回収受けを作る





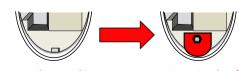




◎:3点 ○:2点 △:1点 ×:0点

| 問題点 | | 対策案 | 予想効果 | コスト | 安全性 | 品質 | 持続性 | 難易度 | 総合評価 | 採否 |
|-----------------|---|--------------------------------------|------|-----|-----|----|-----|-----|------|----|
| 隙間を抜けカスが通過してしまう | 1 | 抜けカスが通過する隙間を 無くすストッパーを型に取り 付ける | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | 採 |
| | 2 | 内型下半分を無くし 回収受けを作る | 0 | × | 0 | 0 | 0 | Δ | 12 | 否 |
| してしまう | 3 | 抜けカスを受けやすくする 為に回収受けを大きくする | Δ | Δ | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 否 |

この対策案を6つの観点で評価しました。 最も評価点が高い17点である案①の「隙間を無くす ストッパーを型に取り付ける」を採用しました。



ストッパーで抜けカスの通過を防ごう



抜けカスを20回落下させ、ストッパー幅を75mmに設定しました。



入江君が「完成まで頑張るぞ」と意気込む中 私たちは少し離れた位置から見守りました。 出来栄えも問題ないストッパーを見事一人で完成して くれました。技能習得も3ポイントまで向上です。

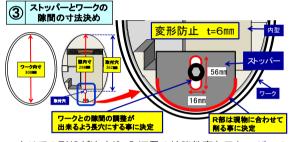
⑥ 取付トライ実施

| ストッパーと ワークの隙間 | 抜けカス遮断 | 調査 | ワークセット性調査 | | | |
|------------------|--------|----|-----------|---|--|--|
| Omm | 遮断する | 0 | 脱着出来ない | × | | |
| 1 mm | 遮断する | 0 | 脱着しにくい | Δ | | |
| 2mm | 遮断する | 0 | 脱着出来る | 0 | | |
| 3mm | 遮断しない | × | 脱着出来る | 0 | | |



抜けカス遮断とワークセット性の相関関係を調べながら 取り付け位置を見極めます。

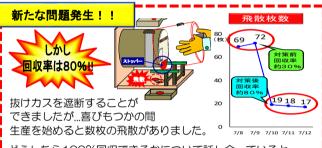
Ommから3mmまでトライを実施したところ、抜けカスを遮断しかつ、スムーズにワークを脱着することができた2mmに隙間を設定し対策完了です。(カンコツゼロ)



すべての形状が決まり、入江君の技能教育とストッパーの作製に入ります。

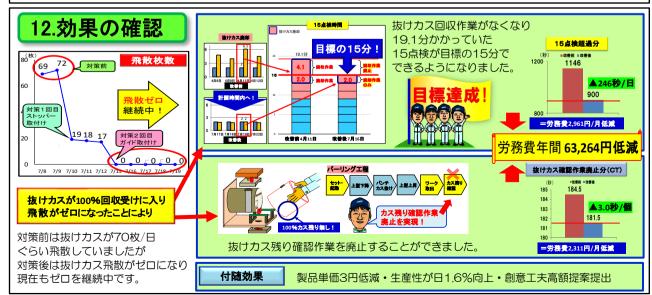


ストッパー作製に必要なスキルを教え込み、更に自ら現場を 変えれる人材に育てあげる為、その他の技能にも挑戦させ 毎日弱音を吐くこともなく、習得に挑戦しました。



どうしたら100%回収できるかについて話し合っていると 入江君より「漏斗みたいなガイドを取付けてみては?」との 意見があり、ストッパー幅をヒントに直径80mmでガイドを作製 して取付け、回収率100%を達成しました!





13.標準化•横展

抜けもれや、後戻りしないよう5W1Hで展開 〈オペレーターへの展開事項〉

- 合いマークで緩み確認
- ・ストッパーの摩耗点検
- ガイド取り付け状態の確認
- チェックシート記入
- <班長への展開事項>
 - ・チェックシートに確認・点検項目を追記

さらに、生産技術部へフィードバックし 次期バーリング型への織り込みを依頼しました。

| 誰が | 何を | いつ どのように | | どうする | なぜ | |
|-------------|-----------------|----------------------|--------------|-----------------------------|------------------|--|
| オペレーター | ストッパー固定 ポルトを | 使用前 | 目視 | 緩みがないか合いマークを 確認チェックシート記入 | 抜けカスを散乱 させない為 | |
| 班長 | 日常点検 シートを | 7/19までに | 点検が出来る 様に | チェックシート追記 | 点検抜けを起こ させない為 | |
| 14 始某時 入江 | 10sec #. | パー固定ポルト | 0.00 | ストッパー質 | 定ポルト | |
| 15 始業時 入江 | 4W 20- | ペーゲージでスト の確認 2m] | | | | |
| * (# m_i)-1 | | 15. 高金 取物 人法 | 内型 | | | |
| 1000 | / | | To | 合いマ | - A | |
| 1/ | | | 4 | T TOTAL | | |
| | 常点検チェッ | ウシート | | 技術部へのフィー | | |
| - Comme | | | 次期バー | リング型への織 | り込み依頼 | |

14.入江君の成長





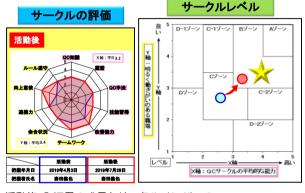


現在では大きな物を一人で 作製出来るレベルまでに成長!

ストッパー作製を通じて、技能が向上して一人で 改善できるようになり、QCに対する意欲も高まり 大幅に成長してくれました。

現在では、大きな物を一人で作製できるレベルまで ステップアップしています。

15.サークルの成長



活動後、入江君の成長とサークルメンバーの ー体感もでてきて全体の能力が上がり 特に技能習得・改善能力・ チームワークが向上し Bゾーンヘレベルアップする ことができました。

16.反省と今後の取組み

《良かった点》 若手を中心にサークル 活動を進め、ストーリーの 理解、改善技能の向上に つなげる事が出来た。

《改善点》

要因調査で発言が 少なかったので活発に 意見が出る様工夫して いきたい。



《今後の目標》

さらにサークルのレベルアップをし 会社の利益に貢献できるよう みんなで改善活動を進めていく。



17.活動を振り返って

今までの私たちは問題意識が低い状態でしたが.....

飛散して当たり前の 世界からの脱却達成! 抜けカス飛散が、私たちに成長の機会を与えてくれて 改善意欲が生まれ考え方が変わり、更に現場を 変えたい気持ちが強くなりました。

抜けカスに感謝です!!





挑戦する 意識高↑ 飛散している! 改善する! 現場を変えるぞ!!